

東備西播定住自立圏共生ビジョンについて

○ 東備西播定住自立圏共生ビジョンとは

- ① 生活圏が隣接する備前市、赤穂市、上郡町の3市町の人口推計は、令和2年の92,491人から10年後の令和12年には、78,820人にまで減少
- ② 3市町の魅力を活かした地域づくりにより、人口流出を食い止め、本地域への人の流れを創出することが喫緊の課題
- ③ 様々な課題解決に向けて3市町が連携・協力し、広域的かつ有機的な取組みを推進するための東備西播定住自立圏を形成
- ④ 医療、教育、産業、交通等の分野で3市町が実施する具体的取組みを「定住自立圏共生ビジョン」として策定（計画期間：令和2年度～令和6年度）

○ 共生ビジョン懇談会とは

- 定住自立圏共生ビジョンにおける取組みの効果的な推進に際しては、適切な進捗管理が必要
- 進捗管理は、各取組みに設定した数値目標の進捗状況を確認し、改善につなげることが目的
- 進捗管理に際し、市民、関係団体、民間事業者等からご意見等いただく場（懇談会）を設置

取組み目標の達成に向けた進捗状況について

○ 取組み目標の設定

- 各取組みの進捗度合を検証する観点から数値目標（令和6年度）を設定

○ 取組み目標の進捗

政策分野	R4実績の達成率			
	100%以上	99～80%	79～50%	50%以下
1-ア 医療				3
1-イ 教育	2	3	3	5
1-ウ 産業振興	1	1	2	
2-ア 地域公共交通		1	1	
2-イ ICTインフラ	1			
2-ウ 地域内外の住民との交流・移住促進	2			4
3-ア 圏域内の職員等の交流		1		

- 新型コロナウイルス感染症による制限の緩和により、達成率の大幅な上昇が見られた。
 - ・中学生吹奏楽部交流助成事業 0%⇒85.7%
 - ・定住相談会開催等事業 13.3%⇒173.3%
 - ・地域連携フォーラム事業 0%⇒43.3%
 - ・職員研修事業 7.3%⇒80.5% など
- 目標達成に向けては、新型コロナウイルス感染症を含む社会環境の変化に対応した取組が必要。
 - ・観光振興事業⇒アウトドアツアー等、自然の魅力発信による観光客増に取組む
 - ・企業誘致促進事業⇒サテライトオフィスからテレワークへ企業ニーズが移行している。
引き続き、企業の情報等を把握し、誘致活動に取組む。